

文化財の

「保存」と「活用」をめぐって——

2018年、文化財保護法改正。

その骨子は、文化財保護事務の首長部局への移管、文化財の活用推進などであった。

しかし、施行から2年が経過しようとしている今、文化財の観光資源化など、様々な問題が浮き彫りになってきている。

文化財を後世に継承するために、我々は何をすべきか。各方面から話していただき、考える機会としたい。

2021年 1月10日(日) 13:00～
(開場 12:30)

オンライン (Zoom) にて開催

※事前申込み制/当会HPの専用フォームからお申し込みください

東京歴史科学研究会 二〇二〇年度歴史科学講座
文化財保護法の改正と

文化財の危機

報告者

岩崎奈緒子氏
(京都大学教授)

関連業績:

「歴史と文化の危機—文化財保護法の「改正」—」(『歴史学研究』981号、2019年)、「大学博物館と博物館法」(『博物館研究』54号、2019年) など

山田朗氏
(明治大学教授)

関連業績:

『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』(編著者、明治大学出版会、2012年)、「陸軍登戸研究所の概要と登戸研究所資料館の現代的意義」(『駿台史学』141号、2011年) など

コメンテーター

岩淵令治氏
(学習院女子大学教授)

関連業績:

『史跡で読む日本の歴史』9(編著者、吉川弘文館、2010年)、「遙かなる江戸の此方にあるもの—“幸せな江戸像”と文化ナショナリズムをめぐって」(『歴史学研究』966号、2018年) など

東京歴史科学研究会

〒114-0023

東京都北区滝野川2-32-10-222 (歴科協気付)

Tel/Fax: 03-3949-3749

Web: <http://www.torekiken.org/>

Twitter: @torekiken

e-mail: torekiken@gmail.com

